



Kofax TotalAgility

レポート テーブル

バージョン: 8.0.0

日付: 2024-03-13

TUNGSTEN
AUTOMATION
FORMERLY KOFAX

© 2024 Tungsten Automation. All rights reserved.

Tungsten and Tungsten Automation are trademarks of Tungsten Automation Corporation, registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Tungsten Automation.

目次

序文.....	5
第 1 章 : ディメンション テーブル.....	7
事前定義されたコンテンツを含むディメンション テーブル.....	7
date_dim.....	7
field_recog_status_dim.....	8
object_action_dim.....	10
product_dim.....	13
time_dim.....	13
レポート サーバーによって維持されるディメンション テーブル.....	14
batch_dim.....	14
batch_class_dim.....	16
doc_dim.....	17
doc_class_dim.....	19
event_data_dim.....	20
field_dim.....	22
field_column_dim.....	22
group_value_dim.....	23
machine_dim.....	23
mod_dim.....	23
page_dim.....	24
path_dim.....	26
reject_note_dim.....	27
station_dim.....	27
ta_categories_dim.....	28
tsf_class_dim.....	28
ta_classif_group_dim.....	29
user_dim.....	30
第 2 章 : ファクト テーブル.....	31
セッション スナップショット テーブル.....	31
batch_sess_snapshot_fact.....	31
doc_sess_snapshot_fact.....	36
累積ファクト テーブル.....	38
batch_accum_fact.....	38

doc_accum_fact.....	40
field_accum_fact.....	40
その他のファクト テーブル.....	43
batch_field_fact.....	43
field_changes_fact.....	43
object_audit_fact.....	44

序文

このガイドでは、Kofax レポート データ ウェアハウスのディメンション テーブルとファクト テーブルについて説明します。これらのテーブルには、Kofax TotalAgility のキャプチャ クライアント アクティビティに関連する情報が格納されています。

データベース ロール kfx_advanced_reader を持つユーザーは読み取りアクセス権のみを保持しますが、データベース ロール kfx_etl を持つユーザーは、これらのテーブルに対する書き込みアクセス権を保持します。データベースのすべての日時の値は、UTC タイム ゾーンに基づいています。

i これらは、直接の読み取り専用アクセスが許可されている唯一のデータベース テーブルです。

以下に、レポート テーブルの完全なリストを示します。

TotalAgility_Reporting	TotalAgility_Reporting_Staging
field_dim	wsa_retention_stamp
field_column_dim	wsa_messages
field_accum_fact	kfx_db_version
etl_job_details	existing_id_values
etl_job	etl_agent
doc_sess_snapshot_fact	
doc_export_fact	
event_data_dim	
path_dim	
doc_dim	
doc_class_dim	
doc_accum_fact	
date_dim	
batch_sess_snapshot_fact	
batch_field_fact	
batch_dim	
batch_class_dim	
batch_accum_fact	

field_changes_fact	
tmp_delete_doc_dim	
retention_stamp	
user_dim	
tsf_class_dim	
time_dim	
ta_classif_group_dim	
ta_categories_dim	
station_dim	
reject_note_dim	
product_dim	
page_dim	
object_audit_fact	
object_action_dim	
mod_dim	
machine_dim	
kfx_db_version	
group_value_dim	
field_recog_status_dim	

第1章

ディメンション テーブル

名前が _dim で終わるテーブルはディメンション テーブルです。これらのテーブルは、ドキュメント処理に関係するワークステーションの情報を格納する一種の辞書です。たとえば、[doc_dim] テーブルには、キャプチャクライアント アクティビティ中に処理されたドキュメントに関連する、必要なすべてのレポート情報が格納されます。

ディメンション テーブルには、日付、時刻、ユーザー、ステーションなどのカテゴリが含まれます。

Kofax レポート ETL (Extract/Transform/Load) アルゴリズムは、ほとんどのテーブルにコンテンツを提供しますが、テーブルによっては、ドキュメント分類のステータス、時刻、日付などのコンテンツが事前に定義されていることがあります。

事前定義されたコンテンツを含むディメンション テーブル

date_dim

このテーブルには、カレンダー日付の値が保持されます。ほとんどのファクト テーブルには、このテーブルを参照する 1 つ以上の外部キーが格納されています。

このテーブルには、データベース作成スクリプトによって 2009-01-01 ~ 2050-12-31 の日付値が入力されます。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	date_key	int	4	年 * 10000 + 月 * 100 + 日 例: 2015 年 2 月 22 日の場合は 20150222
	full_date	datetime	8	
	calendar_year	int	4	例: 2015
	month_number_of_year	int	4	1-12
	ym	nvarchar(6)	12	YYYYMM 形式の年と月。
	day_number_of_month	int	4	1-31
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。常に -1 に等しくなります。

field_recog_status_dim

このテーブルには、有効な Kofax Transformation Modules フィールド認識ステータスの値が保持されます。フィールド ファクト テーブルおよびさまざまな Transformation 固有のビューは、データベース作成スクリプトによって入力されるこのテーブルを使用します。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明																		
✎	field_recog_status_key	int	4	固定キーの値: <table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>ステータス</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>有効で、正しい</td> <td>このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出され、検証セッションで変更されなかったフィールドに対応しています。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効で、正しくない</td> <td>このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出され、検証セッションで変更されたフィールドに対応しています。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>拒否済みで、正しい</td> <td>このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出されず、検証セッションで変更されなかったフィールドに対応しています。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>拒否済みで、正しくない</td> <td>このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出されず、検証セッションで変更されたフィールドに対応しています。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>不明</td> <td>まだ検証データがありません。</td> </tr> </tbody> </table> <p>i 値が 1～4 の場合、このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出され、検証セッションで変更されなかったフィールドに対応しています。</p>	値	ステータス	説明	1	有効で、正しい	このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出され、検証セッションで変更されなかったフィールドに対応しています。	2	有効で、正しくない	このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出され、検証セッションで変更されたフィールドに対応しています。	3	拒否済みで、正しい	このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出されず、検証セッションで変更されなかったフィールドに対応しています。	4	拒否済みで、正しくない	このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出されず、検証セッションで変更されたフィールドに対応しています。	5	不明	まだ検証データがありません。
値	ステータス	説明																				
1	有効で、正しい	このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出され、検証セッションで変更されなかったフィールドに対応しています。																				
2	有効で、正しくない	このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出され、検証セッションで変更されたフィールドに対応しています。																				
3	拒否済みで、正しい	このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出されず、検証セッションで変更されなかったフィールドに対応しています。																				
4	拒否済みで、正しくない	このステータスは、認識セッションで高い信頼度で抽出されず、検証セッションで変更されたフィールドに対応しています。																				
5	不明	まだ検証データがありません。																				

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	field_recog_status_name	nvarchar(255)	510	説明テキスト (「有効で正しい」など)
	valid_corr_num	int	4	ビットフィールドのように使用。フィールドが有効で、正しい場合は 1。それ以外の場合は 0。
	valid_incorr_num	int	4	ビットフィールドのように使用。フィールドが有効で、正しくない場合は 1。それ以外の場合は 0。
	invalid_corr_num	int	4	ビットフィールドのように使用。フィールドが拒否済みで、正しい場合は 1。それ以外の場合は 0。
	invalid_incorr_num	int	4	ビットフィールドのように使用。フィールドが拒否済みで、正しくない場合は 1、それ以外の場合は 0。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。常に -1 に等しくなります。

object_action_dim

このテーブルには、バッチ、ドキュメント、およびページに関連するイベント アクションの説明テキストが保持されます。このテーブルは、データベース作成スクリプトによって入力されます。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	object_action_key	int	4	事前定義されたアクションのキーを修正しました。
	object_action_name	nvarchar(32)	64	ビューに表示される、短くてわかりやすい名前。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。常に -1 に等しくなります。

次の表に、すべてのイベント コードと object_action_dim テーブルの説明を示します。

object_action_key	object_action_name	説明
0	ログオフ	このコードは現在使用されていません。
1	ログオン成功	このコードは現在使用されていません。
2	ログオン失敗	このコードは現在使用されていません。
10001	ページ スキャン	スキャンによってページが取り込まれました。
10002	ページ移動	ドキュメント内またはドキュメント間でページが移動されました。

object_action_key	object_action_name	説明
10003	ページ削除	ページが削除されました。
10004	ページ エクスポート	ページがエクスポート モジュールによってエクスポートされました。
10007	ページ置換	ページが別のページに置き換えられました。
10008	ページ コピー	このコードは現在使用されていません。
10009	ページ回転	ページが回転されました。
10010	ページ リジェクト	ページがリジェクトされました。
10011	ページ リジェクト解除	ページがリジェクト解除されました。
10012	ページ リダクション	このコードは現在使用されていません。
10013	ページ スキャン (KFS)	このコードは現在使用されていません。
10014	ページ注釈	ページに注釈が付けられました。
10015	バッチからのページの移動	ページがルート フォルダから移動されました。
10016	バッチへのページの移動	ページがルート フォルダに移動されました。
10017	ページの注釈の削除	ページの注釈が削除されました。
10018	ページ マスク	このコードは現在使用されていません。
20001	ドキュメント作成 (KFS)	このコードは現在使用されていません。
20002	ドキュメントの移動	ドキュメントが移動されました。
20003	ドキュメントの削除	ドキュメントが削除されました。
20004	ドキュメントのエクスポート	ドキュメントがエクスポート モジュールによってエクスポートされました。
20005	分割によるドキュメントの作成	ドキュメントが別のドキュメントの分割によって作成されました。
20006	マージによるドキュメントの削除	ドキュメントが別のドキュメントとのマージによって削除されました。
20007	ドキュメントのリジェクト	ドキュメントがリジェクトされました。
20008	ドキュメントのリジェクト解除	ドキュメントがリジェクト解除されました。
20009	提案クラスの変更	低い信頼度で分類されたドキュメントがユーザーによって再分類されました。
20010	提案クラスの受け入れ	低い信頼度で分類されたドキュメントがユーザーによって確認されました。
20011	信用クラスの変更	高い信頼度で分類されたドキュメントがユーザーによって再分類されました。
20012	フォーム タイプの変更	このコードは現在使用されていません。
20013	ドキュメントのコピー	ドキュメントがコピーされました。

object_action_key	object_action_name	説明
20014	分割によるドキュメントのページの欠損	分割中にドキュメントのページが失われました。
20015	結合によるドキュメントのページの増加	別のドキュメントとのマージ中にドキュメントのページが増加しました。
20016	ドキュメントの作成	ドキュメントが作成されました。
20017	ドキュメントの並べ替え (KFS)	このコードは現在使用されていません。
20018	バッチからのドキュメントの移動	ドキュメントがルート フォルダから移動されました。
20019	バッチへのドキュメントの移動	ドキュメントがルート フォルダに移動されました。
20020	ドキュメント名の変更	このコードは現在使用されていません。
20021	ドキュメントの問題の無効化	ドキュメントに関連するいくつかの問題を解決しました。
20022	ドキュメントの問題の回復	いくつかの問題をドキュメントに関連付けました。
20023	ドキュメントのシステムによる分類	ドキュメントが無人セッションで分類されました。
20024	ドキュメント間のページの移動	ドキュメント内でページが移動されました。
20025	キャプチャの完了	キャプチャ アクティビティでドキュメントに完了とマークされました。
30001	バッチ作成	ルート フォルダが作成されました。
30002	バッチ削除	ルート フォルダが削除されました。
30003	バッチ オープン (インタラクティブ)	ルート フォルダが、Kofax TotalAgility 有人アクティビティで開かれました。
30004	バッチ クローズ (インタラクティブ)	ルート フォルダが、Kofax TotalAgility 有人アクティビティで終了しました。
30005	バッチ一時停止	このコードは現在使用されていません。
30006	バッチ タイムアウト	Kofax TotalAgility アクティビティでルート フォルダの処理がタイムアウトになりました。
30007	バッチ エクスポート	ルート フォルダがエクスポート モジュールによってエクスポートされました。
30008	バッチ オープン (非インタラクティブ)	ルート フォルダが、Kofax TotalAgility 無人アクティビティで開かれました。
30009	バッチ クローズ (非インタラクティブ)	ルート フォルダが、Kofax TotalAgility 無人アクティビティで終了しました。
40001	フォルダの作成 (非インタラクティブ)	このコードは現在使用されていません。
40002	フォルダの削除 (非インタラクティブ)	このコードは現在使用されていません。

object_action_key	object_action_name	説明
40003	フォルダのマージ (非インタラクティブ)	このコードは現在使用されていません。
40004	フォルダの分割 (非インタラクティブ)	このコードは現在使用されていません。
40005	フォルダの問題の無効化	このコードは現在使用されていません。
40006	フォルダの問題の回復	このコードは現在使用されていません。
50001	ドキュメント フィールド行の削除	ユーザーがドキュメント内のテーブル フィールドのフィールド行を削除しました。
60001	手動フィールドの変更	フィールドが変更されました。
60002	単一フィールドの変更	フィールド変更の履歴のために内部で使用されました。

product_dim

このテーブルには、統合製品について報告するための製品 ID が保持されます。データベース作成スクリプトによって、Kofax Capture (KC)、Kofax Transformation Modules (KTM)、および Kofax Front Office Server (KFS) 製品のレコードが追加されます。他のいくつかのテーブル (バッチ、バッチ クラス、モジュール、ドキュメント クラスなどに使用) は、このテーブルを参照して、特定のレポート レコードを生成した製品を指定します。

新しい Kofax 製品がレポートと統合されている場合は、対応するレコードをこのテーブルに入力する必要があります。

現在、すべての Kofax TotalAgility 関連アクティビティの product_key は 2 です (Kofax TotalAgility)。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	product_key	int	4	一意の製品 ID。
	product_text	nvarchar(32)	64	一意の短い製品名。 例: KC および KFS
	product_descr	nvarchar(255)	510	表示する製品名。 例: Kofax Capture および Kofax Transformation Modules

time_dim

このテーブルには、精度が 1 秒の時刻値が保持されます。このテーブルは、データベース作成スクリプトによって入力されます。ほとんどのファクト テーブルはこのテーブルを参照します。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	time_key	int	4	時間 * 10000 + 分 * 100 + 秒 例: 12 時間 35 分 15 秒の場合、値は 12003515 です。
	hour_of_day	int	4	0 ~ 23
	min_of_hour	int	4	0 ~ 59
	second_of_min	int	4	0 ~ 59
	hh_mm_ss	nvarchar(8)	16	HH:MM:SS 形式の時間。
	full_time	datetime	8	SQL 時間
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。常に -1 に等しくなります。

レポート サーバーによって維持されるディメンション テーブル

このセクションで示されているすべてのディメンション テーブルには、主キーが -1 の追加レコードが保持されています。外部キーの値が -1 の場合は、この情報がまだ不明です。たとえば、バッチがまだエクスポートされていない場合は、export_date_key = -1 になります。

batch_dim

レポート サーバーは、バッチに関する新しい情報 (KTA アクティビティ) を受信したときに、このテーブルを更新します。更新されるのは、バッチが作成された場合、バッチ セッションを開いた場合や閉じた場合、またはバッチ編集アクションを実行しているときなどです。

API によって報告される各アクションのタイム スタンプにより、最新情報であることが保証されます。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	batch_key	bigint	8	一意の内部キー。
	batch_name	nvarchar(255)	510	IBatchInfo.Name のバッチ名。
	batch_id	nvarchar(255)	510	IBatchInfo.Id の一意のバッチ ID。
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー。
	create_date_key	int	4	バッチ作成日。 date_dim に対する外部キー。
	create_time_key	int	4	バッチ作成時間。 time_dim に対する外部キー。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	export_date_key	int	4	エクスポート モジュールがバッチを終了し、ステータスが削除済みになった時点のバッチ エクスポート日。 date_dim に対する外部キー。
	export_time_key	int	4	バッチ エクスポート時刻。 time_dim に対する外部キー。
	delete_date_key	int	4	モジュールがバッチを終了し、ステータスが削除済みになった時点のバッチ削除日。 date_dim に対する外部キー。
	delete_time_key	int	4	バッチ削除時刻。 time_dim に対する外部キー。
	last_proc_date_key	int	4	最終処理日。 date_dim に対する外部キー。
	last_proc_time_key	int	4	最終処理時刻。 time_dim に対する外部キー。
	create_station_key	int	4	バッチ作成情報を提供したステーション。 station_dim に対する外部キー。
	create_user_key	int	4	バッチ作成イベントのユーザー。 user_dim に対する外部キー。
	last_proc_station_key	int	4	バッチに関する最新情報を提供したステーション。 station_dim に対する外部キー。
	last_proc_user_key	int	4	最後のバッチ関連情報のユーザー。 user_dim に対する外部キー。
	last_proc_mod_key	int	4	最後のバッチ関連情報のモジュール。 mod_dim に対する外部キー。
	dt_last_proc_datetime	datetime	8	内部で使用されます。最終処理日時を指します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明												
	batch_state	int	4	<p>バッチ セッション終了イベントのバッチ ステータス。</p> <p>有効なバッチの状態値は次のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備完了</td> <td>2</td> <td>次のモジュールの準備ができました。</td> </tr> <tr> <td>エラー</td> <td>32</td> <td>バッチはエラー状態です。</td> </tr> <tr> <td>削除済み</td> <td>256</td> <td>このセッションでバッチが削除されました。</td> </tr> </tbody> </table>	状態	値	説明	準備完了	2	次のモジュールの準備ができました。	エラー	32	バッチはエラー状態です。	削除済み	256	このセッションでバッチが削除されました。
状態	値	説明														
準備完了	2	次のモジュールの準備ができました。														
エラー	32	バッチはエラー状態です。														
削除済み	256	このセッションでバッチが削除されました。														
	batch_class_key	int	4	<p>バッチ クラス。</p> <p>batch_class_dim に対する外部キー。</p>												
	batch_priority	int	4	IBatchInfo.Priority のバッチ優先度。												
	batch_descr	nvarchar(255)	510	IBatchInfo.Description のバッチの説明。												
	is_exported	bit	1	バッチがエクスポートされた場合は 1。												
	is_deleted	bit	1	バッチが削除された場合は 1。												
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。												

batch_class_dim

レポート サーバーは、バッチ処理イベント (バッチ作成、バッチ セッション終了、バッチ編集) 内にバッチ クラスに関する新しい情報が見つかった場合、このテーブルに入力します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	batch_class_key	int	4	一意のキー。
	batch_class	nvarchar(255)	510	IBatchInfo.Class のバッチ クラス名。
	batch_class_descr	nvarchar(255)	510	IBatchInfo.ClassDescription のバッチ クラスの説明。
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー。
	dt_last_change	datetime	8	内部で使用されます。最終変更日時を指します。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

doc_dim

このテーブルには、各ドキュメントの最新の既知のステータスが保持されます。レポート サーバーは、バッチ終了イベントおよびドキュメント関連のバッチ編集アクションを処理するときにこのテーブルを更新します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	doc_key	bigint	8	一意のキー。
	doc_id	nvarchar(255)	510	IEdit 呼び出しの IDocument.Id パラメータおよび documentID パラメータのナチュラル キー。
	initial_doc_class_key	int	4	分類セッションのドキュメント クラス。 doc_class_dim に対する外部キー。
	doc_class_key	int	4	IDocument.Class の最新の既知のドキュメント クラス。 doc_class_dim に対する外部キー。
	initial_tsf_class	int	4	自動認識された Kofax Transformation Modules クラス。 分類セッションの IDocument.TransformationClass。 tsf_class_dim に対する外部キー。
	tsf_class	int	4	ドキュメント レビュー後の Kofax Transformation Modules クラス。 ドキュメント レビュー セッションの IDocument.TransformationClass。 tsf_class_dim に対する外部キー。
	is_exported	bit	1	ドキュメントが完全にエクスポートされたバッチの一部である場合は、エクスポートセッションの終了時に True に設定します。
	is_processing_completed	bit	1	ドキュメントが属するバッチが完了とマークされている場合は、True に設定します。
	is_aggr	bit	1	ETL アルゴリズムが内部で使用します。
	group_value_key	int	4	IDocument.GroupValue の最後の既知の Kofax Transformation Modules グループ値。 group_value_dim に対する外部キー

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	create_date_key	int	4	ドキュメントが作成された日付 (IEdit.CreateDocument または IEdit.SplitDocument を使用)。 date_dim に対する外部キー。
	create_time_key	int	4	ドキュメント作成日時。
	dt_create_datetime	datetime	8	ドキュメント作成日時 (SQL DateTime 形式)。
	export_date_key	int	4	ドキュメントが最後にエクスポートされた日付 (IEdit.ExportDocument を使用)。 date_dim に対する外部キー。
	export_time_key	int	4	ドキュメントが最後にエクスポートされた時刻。 time_dim に対する外部キー。
	last_proc_date_key	int	4	前回入手可能だったドキュメント関連情報の日付。 date_dim に対する外部キー。
	last_proc_time_key	int	4	前回入手可能だったドキュメント関連情報の時刻。 time_dim に対する外部キー
	dt_last_proc_datetime	datetime	8	前回入手可能だったドキュメント関連情報の日時 (SQL DateTime 形式)。
	last_proc_station_key	int	4	このドキュメントを最後に処理したステーションを参照します。 station_dim に対する外部キー。
	last_proc_user_key	int	4	このドキュメントを最後に処理したユーザーを参照します。 user_dim に対する外部キー。
	classified_date_key	int	4	最後の分類セッション バッチ終了イベントの日付。 date_dim に対する外部キー
	classified_time_key	int	4	最後の分類セッション バッチ終了イベントの時刻。 time_dim に対する外部キー。
	dt_last_class_datetime	datetime	8	ドキュメントが最後に分類された日時 (SQL DateTime 形式)。
	reviewed_date_key	int	4	最後の Kofax Transformation Modules ドキュメントレビュー セッション バッチ終了イベントの日付。 date_dim に対する外部キー。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	reviewed_time_key	int	4	最後の Kofax Transformation Modules ドキュメントレビュー セッション バッチ終了イベントの時刻。 time_dim に対する外部キー。
	dt_last_review_datetime	datetime	8	前回のドキュメントレビューの日時 (SQL DateTime 形式)。
	review_user_key	int	4	最後の Kofax Transformation Modules ドキュメント レビュー セッションのユーザー。 user_dim に対する外部キー。
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。
	path_key	bigint	8	path_dim テーブルの一意的内部キー。
	in_root_folder_position	int	4	ルート フォルダを基準として、最初のドキュメントからカウントしたドキュメントの番号。
	in_sub_folder_position	int	4	最も近いサブフォルダを基準として、最初のドキュメントからカウントしたドキュメントの番号。
	display_name	nvarchar(255)	510	IEdit 呼び出しの IDocument.DisplayName パラメータから最後に計算された、既知のドキュメント表示名。
	is_sys_classified	bit		ドキュメントがシステムによって分類された場合は 1。 値は IDocument.IsSystemClassified に設定されます。
	in_root_fold_pos_sys_clsf	int	4	ドキュメントが最後にシステムによって分類されたルート フォルダを基準して、最初のドキュメントからカウントしたドキュメントの番号。
	is_deleted	bit	1	ドキュメントがシステムから削除された場合は true に設定します。

doc_class_dim

レポート サーバーは、バッチ終了イベントで新しいドキュメント クラス名 (Kofax TotalAgility ドキュメント タイプ) を検出した場合、ETL 中にこのテーブルにレコードを追加します。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	doc_class_key	int	4	一意的キー。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	doc_class	varchar(255)	510	IDocument.Class のドキュメント クラス名。
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

event_data_dim

このテーブルには、object_audit_fact レコードの追加情報が保持されます。各パラメータは、以下のように異なるデータ タイプに対応している場合があります。

イベント タイプ	イベント ID	詳細	[event_data_dim] パラメータと [object_audit_fact] パラメータ
システムによる分類	20023	以前のドキュメントタイプ (存在する場合)。	[event_param1] には [tsf_class_dim] に対するキーまたは -1 が含まれます。
		分類されたドキュメントタイプ。	[event_param2] には、[tsf_class_dim] に対するキーが含まれます。
		信頼度、および分類の信頼度が高かったかどうか。	[event_param3] には信頼度 (%) が含まれます。分類が信頼できる場合、値は正の数になり、そうでない場合は負の数になります。
分割 - 分割	20005	前のドキュメントの識別子。	[event_param1] には、[doc_dim] に対するキーが含まれます。
		新しく作成されたドキュメントのドキュメント識別子。	[event_param2] には、[doc_dim] に対するキーが含まれます。
		分割されたドキュメントがシステムによって分類された場合。	[event_param3] には、ドキュメントが分割時にシステムによって分類された場合は 1 が含まれます。それ以外の場合は 0 が含まれます。
		ページの範囲 - 新しいドキュメント ページの範囲。	[object_audit_fact].[comment] には、「(2,4)-(1,3)」などの文字列が含まれます。
		分割されたドキュメントの最初のページ。	[object_audit_fact].[page_key] には、[page_dim] に対するキーが含まれます。
分割 - マージ	20006	前のドキュメントの識別子。	[event_param1] には、[doc_dim] に対するキーが含まれます。
		宛先ドキュメントのドキュメント識別子。	[event_param2] には、[doc_dim] に対するキーが含まれます。

イベントタイプ	イベント ID	詳細	[event_data_dim] パラメータと [object_audit_fact] パラメータ
		ページの範囲 - 新しいドキュメント ページの範囲。	[object_audit_fact].[comment] には、「(2,4)-(1,3)」などの文字列が含まれます。
分割 - ページ移動	20024	前のドキュメントの識別子。	[event_param1] には、[doc_dim] に対するキーが含まれます。
		宛先ドキュメントのドキュメント識別子。	[event_param2] には、[doc_dim] に対するキーが含まれます。
		ページの範囲 - 宛先ドキュメントのページの範囲。	[object_audit_fact].[comment] には、「(2,4)-(1,3)」などの文字列が含まれます。
提案クラスの変更	20009	前のドキュメントタイプ。	[event_param1] には、[tsf_class_dim] に対するキーが含まれます。
		新しいドキュメントタイプ。	[event_param2] には、[tsf_class_dim] に対するキーが含まれます。
提案クラスの確認	20010	ドキュメントタイプ。	[event_param1] には、[tsf_class_dim] に対するキーが含まれます。
信用クラスの変更	20011	前のドキュメントタイプ。	[event_param1] には、[tsf_class_dim] に対するキーが含まれます。
		新しいドキュメントタイプ。	[event_param2] には、[tsf_class_dim] に対するキーが含まれます。
ドキュメントのリジェクト	20007	リジェクト ノート。	[object_audit_fact].[reject_note_key] には、[reject_note_dim] に対するキーが含まれます。
ドキュメントのリジェクト解除	20008	なし	なし
ページのリジェクト	10010	リジェクト ノート。	[object_audit_fact].[reject_note_key] には、[reject_note_dim] に対するキーが含まれます。
ページのリジェクト解除	10011	なし	なし
ドキュメントの削除	20003	なし	なし
ページの削除	10003	ページ番号。	[event_param1] にはページ番号が含まれています。
フィールドの変更	60001	変更されたフィールドの数。	[event_param1] にはフィールドの数が含まれています。
		キー ストローク数	[event_param2] にはキーstroークの数が含まれています。
ドキュメントのエクスポート	20004	コネクタ名。	[object_audit_fact].[export_mod_key] には、[mod_dim] に対するキーが含まれています。
キャプチャの完了	20025	なし	なし

イベント タイプ	イベント ID	詳細	[event_data_dim] パラメータと [object_audit_fact] パラメータ
保持によるドキュメントの削除	20026	なし	なし
テーブル フィールド内の行の削除	50001	行が削除されたテーブル フィールド。	[event_param1] には、[field_dim] テーブル フィールドの参照が含まれています。

イベント ID は [object_audit_fact].[object_action_key] 列に格納されています。すべてのイベントの対応するドキュメント セッションに [event_data_dim].[doc_sess_snapshot_key] が入力されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	event_data_key	bigint	8	一意のキー。
	event_param1	bigint	8	
	event_param2	bigint	8	
	event_param3	bigint	8	
	doc_sess_snapshot_key	bigint	8	doc_sess_snapshot_fact に対する外部キー。

field_dim

このテーブルには、すべての既知のドキュメント フィールド名が保持されます。レポート サーバーは、新しいフィールド情報を含むバッチ終了イベントを処理するときに新しいレコードを追加します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	field_key	int	4	一意のキー。
	field_name	nvarchar(255)	510	IField.Name または IBatchField.Name のフィールド名。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

field_column_dim

このテーブルには、すべての既知のテーブル フィールド列が保持されます。レポート サーバーは、テーブル フィールド情報を含むバッチ終了イベントを処理するときにこのテーブルを更新します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	field_column_key	bigint	8	一意のキー。
	field_column_name	nvarchar(255)	510	フィールド列の名前。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

group_value_dim

レポート サーバーは、バッチ終了イベントで新しい Kofax Transformation Modules グループの値 (Kofax TotalAgility ドキュメント タイプ) を検出した場合、ETL 中にこのテーブルにレコードを追加します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	group_value_key	int	4	一意のキー。
	group_value	varchar(255)	510	IDocument.GroupValue の Kofax Transformation Modules グループの値。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

machine_dim

このテーブルには、情報を提供したステーションの識別されたコンピュータ名が保持されます。コンピュータ名は、情報を送信したサーバーから取得されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	machine_key	int	4	一意のキー。
	machine_name	nvarchar(255)	510	コンピュータ名 (ドメインを含む)。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

mod_dim

このテーブルには、情報を提供したモジュールの詳細が保持されます。また、ドキュメントのエクスポートに使用されたエクスポート コネクタのエントリも保持されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	mod_key	int	4	一意のキー。
	mod_type	int	4	モジュールのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • 0 = 通常のモジュール • 2 = エクスポート コネクタ

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	mod_name	nvarchar(255)	510	モジュール名。 <ul style="list-style-type: none"> • 通常の場合: ISessionInfo.ModuleName • エクスポート コネクタの場合: ExportDocument API 呼び出しの ExportConnector パラメータ。
	mod_id	nvarchar(255)	510	一意のモジュール ID。 <ul style="list-style-type: none"> • 通常の場合: ISessionInfo.ModuleId • エクスポート コネクタの場合: ExportDocument API 呼び出しの ExportConnector パラメータ。
	mod_id_type	nvarchar(300)	600	ナチュラル キー。
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー。
	dt_last_change	datetime	8	内部で使用されます。最後に変更されたタイムスタンプを指します。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

page_dim

このテーブルには、個々のページの最新の既知のステータスが保持されます。レポート サーバーは、バッチ終了イベントおよびページ関連のバッチ編集アクションを処理するときに更新されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	page_key	bigint	8	一意のキー。
	page_id	nvarchar(255)	510	ナチュラル キー。 IEdit 呼び出しの IDocument.Id パラメータおよび documentID パラメータのページ ID。
	original_page_id	nvarchar(255)	510	このページが外部システム (別の Kofax 製品) からのエクスポートによって生成されている場合、original_page_id は元のシステム内のページの ID に設定されます。 ページの存続期間が複数の製品にまたがる場合は、このフィールドを使用してページの履歴をトラッキングできます。
	doc_key	bigint	8	現在の所有者のドキュメント。 ドキュメントに属していない場合は -1。 doc_dim に対する外部キー。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	batch_key	bigint	8	現在の所有者のバッチ。 バッチに属していない場合は -1。 batch_dim に対する外部キー。
	dt_last_proc_datetime	datetime	8	ページが最後に処理された日時 (SQL DateTime 形式)。
	last_proc_date_key	int	4	ページが最後に処理された日付。 date_dim に対する外部キー。
	last_proc_time_key	int	4	ページが最後に処理された時刻。 time_dim に対する外部キー。
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー。
	dt_create_datetime	datetime	8	ページ作成日時。 このページが作成されたことを示す、ScanPage または CopyDocument の最初の呼び出し。
	create_date_key	int	4	ページ作成日。 date_dim に対する外部キー。
	create_time_key	int	4	ページ作成時間。 time_dim に対する外部キー。
	initial_tsf_class_key	int	4	自動認識された Kofax Transformation Modules クラス。 分類セッションの IDocument.TransformationClass。 tsf_class_dim に対する外部キー
	tsf_class_key	int	4	ドキュメント レビューまたはその他のアクティビティの後の Kofax Transformation Modules クラス。 ドキュメント レビュー セッションの IDocument.TransformationClass。 tsf_class_dim に対する外部キー。
	classified_date_key	int	4	最後の分類セッション バッチ終了イベントの日付。 date_dim に対する外部キー。
	classified_time_key	int	4	最後の分類セッション バッチ終了イベントの時刻。 time_dim に対する外部キー。
	dt_last_class_datetime	datetime	8	ページが分類中のドキュメントに存在した最後の日時 (SQL DateTime 形式)。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	reviewed_date_key	int	4	最後の Kofax Transformation Modules ドキュメント レビュー セッション バッチ 終了 イベント の日付。 date_dim に対する外部キー。
	reviewed_time_key	int	4	最後の Kofax Transformation Modules ドキュメント レビュー セッション バッチ 終了 イベント の時刻。 time_dim に対する外部キー
	dt_last_review_datetime	datetime	8	ページがレビュー中のドキュメントに存在した最後の日時 (SQL DateTime 形式)。
	review_user_key	int	4	最後の Kofax Transformation Modules ドキュメント レビュー セッション のユーザー。 user_dim に対する外部キー。
	is_exported	bit	1	ページが完全にエクスポートされたバッチの一部である場合は、エクスポートセッションの終了時に True に設定します。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。
	in_doc_position	int	4	ドキュメントのページ番号。
	in_doc_position_sys_clsf	int	4	ドキュメントが最後にシステムによって分類された時点のドキュメントのページ番号。
	doc_key_sys_clsf	Bigint	8	ドキュメントが最後にシステムによって分類された時点のドキュメントの所有者。 doc_dim に対する外部キー。

path_dim

このテーブルには、TotalAgility ルート フォルダ内のすべての既知のドキュメント パスが保持されます。レポート サーバーは、特定のドキュメントの新しい構成可能なパスごとにエントリを作成します。パスは、ルート フォルダ名とサブフォルダ名を使用して構成されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	path_key	bigint	8	一意のキー。
	root_folder_id	nchar(40)	80	IEdit 呼び出しの IRootFolder.id パラメータのルート フォルダ ID。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	full_path_wo_closest	nvarchar(1024)	2048	IEdit 呼び出しの IFolder.DisplayName パラメータのサブフォルダを含むフォルダの完全パス。 このパスには、次の形式で表された、最も近いサブフォルダは含まれていません。 ルート\サブフォルダ\サブフォルダ
	path_closest_subfolder	nvarchar(255)	510	IEdit 呼び出しの IFolder.DisplayName パラメータから取得された最も近いサブフォルダ名。
	full_path	nvarchar(1279)	2558	ナチュラル キーは full_path_wo_closest + path_closest_subfolder で構成されます。
	dt_last_access	datetime	8	レポートで処理されているドキュメントが [path_dim] レコードに属している場合は、このレコードの [dt_last_access] が更新されます。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

reject_note_dim

レポート サーバーは、ドキュメント リジェクト イベントまたはページ リジェクト イベントで新しいリジェクト ノート テキストを検出した場合、ETL 中にこのテーブルにレコードを追加します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	reject_note_key	int	4	一意のキー。
	reject_note	nvarchar(255)	510	リジェクト ノート。 RejectDocument または RejectPage 呼び出しの RejectNote パラメータ。 リジェクト ノートのシンボル数が 255 を超える場合は、切り捨てられます。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

station_dim

このテーブルには、情報を提供した KC (Kofax Capture) ステーションの詳細が保持されます。この情報を入手できない場合、またはサーバー上でアクションが実行された場合は、サーバー情報が提供されません。

このテーブルのナチュラル キーは、ステーション名とサイト ID の組み合わせです。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	station_key	int	4	一意のキー。
	station_name	nvarchar(255)	510	ISessionInfo.Station のステーション名。
	site_id	int	4	ISessionInfo.SiteId のサイト ID。 Kofax TotalAgility の場合は常に 0 に等しくなります。
	station_name_site_id	nvarchar(300)	600	ナチュラル キー。ステーション名とサイト ID の組み合わせです。 内部で使用されます。
	site_name	nvarchar(255)	510	ISessionInfo.SiteName のサイト名。
	dt_last_change	datetime	8	内部で使用されます。最終変更日時を指します。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

ta_categories_dim

このテーブルは、TotalAgility カテゴリを定義します。カテゴリを参照する必要がある他のすべてのテーブルは、このテーブルを参照します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	category_key	bigint	8	一意のキー。
	category_id	nvarchar(255)	510	TotalAgility カテゴリ ID。
	category_name	nvarchar(255)	510	カテゴリ名。
	dt_last_change	datetime		最新のレコード変更時刻。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

tsf_class_dim

レポート サーバーは、バッチ終了イベントで新しい Kofax Transformation Modules クラス名 (Kofax TotalAgility ドキュメント タイプ) を検出した場合、ETL 中にこのテーブルにレコードを追加します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	tsf_class_key	int	4	一意のキー
	tsf_class	nvarchar(255)	510	IDocument.TransformationClass の Kofax Transformation Modules クラス名。 TotalAgility 抽出グループ タイプの名前。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	ta_document_type_id	nvarchar(255)	510	TotalAgility ドキュメント タイプの ID。 TotalAgility 抽出グループの ID。
	ta_document_group_name	nvarchar(255)	510	TotalAgility ドキュメント タイプの名前。 TotalAgility 分類グループの名前。
	ta_document_group_version	nvarchar(255)	510	TotalAgility ドキュメント グループのバージョン。
	ta_document_group_id	nvarchar(255)	510	TotalAgility ドキュメント グループの ID。 TotalAgility 分類グループの ID。
	ta_document_group_cat_key	bigint	510	ドキュメント グループのカテゴリを参照します。
	class_group_version	nvarchar(768)	1536	内部で使用されます。 ナチュラル キーは tsf_class + ta_document_group_name + ta_document_group_version で構成されます。
	product_key	int	4	product_dim に対する外部キー。
	dt_last_change	datetime		このレコードの最終変更時刻。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

ta_classif_group_dim

このテーブルは分類グループを定義します。分類グループを参照する必要がある他のすべてのテーブルは、このテーブルを参照します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	classification_group_key	bigint	8	一意のキー。
	classification_group_name	nvarchar(255)	510	グループ名。
	classification_group_id	nvarchar(255)	510	グループ ID。
	classification_group_version	nvarchar(255)	510	グループ バージョン。
	classif_group_cat_key	bigint	8	カテゴリ キー。 ta_categories_dim に対する外部キー。
	classification_group_id_vers	nvarchar(512)	1024	ナチュラル キーは classification_group_id + classification_group_version で構成されます。
	dt_last_change	datetime		最新のレコード変更時刻。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

user_dim

このテーブルには、バッチ セッションまたは管理セッションで提供されるユーザー情報が保持されます。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	user_key	int	4	一意のキー。
	user_logon_name	nvarchar(255)	510	ISessionInfo.UserId のユーザー ID。
	user_fullname	nvarchar(255)	510	ISessionInfo.UserName のユーザーのフル ネーム。
	dt_last_change	datetime	8	内部で使用されます。最後に変更されたタイムスタンプを指します。
	user_type	int	4	Kofax TotalAgility エントリの場合は常に 2 に等しくなります。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。
	logon_name_type	nvarchar(300)	600	内部で使用されます。 ナチュラル キー。user_logon_name + user_type で構成されています。

第2章

ファクト テーブル

ファクト テーブルには、キャプチャに関連するアクションの情報が格納されます。たとえば、batch_sess_snapshot_fact テーブルには、キャプチャ クライアント アクティビティのファクトが格納されます。

ファクト テーブルには、ビジネス ファクト (または対策)、および通常はディメンション テーブルの主キーを参照する外部キーが含まれています。

セッション スナップショット テーブル

セッション スナップショット テーブルには、個々のバッチ処理セッションまたはドキュメント処理セッションに関する情報が保持されています。

batch_sess_snapshot_fact

このテーブルには、IBatchSession.Close 呼び出しごとに 1 件のレコードが含まれています。Kofax TotalAgility では、レコードには、完了またはキャンセルされた各アクティビティ、またはキャプチャ クライアント フォームの外部で完了した各 SDK 呼び出しが格納されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	batch_sess_snapshot_key	bigint	8	一意のキー。
	batch_sess_id	nvarchar(255)	510	内部で使用されます。 ステージング データベース テーブルの外部キー。
	mod_key	int	4	セッションが発生したモジュール。 mod_dim に対する外部キー。
	station_key	int	4	セッションが発生したステーション。 station_dim に対する外部キー。
	user_key	int	4	セッションを開始したユーザー。 user_dim に対する外部キー。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明										
	batch_key	bigint	8	終了したセッションに関連付けられたバッチ (Kofax TotalAgility ルート フォルダ)。batch_dim に対する外部キー。										
	start_date_key	int	4	バッチ セッションが開始された日付。date_dim に対する外部キー。										
	start_time_key	int	4	バッチ セッションが開始された時刻。time_dim に対する外部キー。										
	end_date_key	int	4	バッチ セッションが終了した日付。date_dim に対する外部キー。										
	end_time_key	int	4	バッチ セッションが終了した時刻。time_dim に対する外部キー。										
	dt_end_datetime	datetime	8	バッチ セッション終了呼び出しの完全な日時。										
	session_type	int	4	ISessionType のセッション タイプ (ビット フィールド)。 <table border="1" data-bbox="966 1003 1461 1276"> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>認識</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>検証</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>分類</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>KTM Correction</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>KTM ドキュメント レビュー</td> </tr> </tbody> </table> <p>たとえば、値が 5 の場合は、このセッションが認識 (1) と分類 (4) を実行することを意味します。</p>	1	認識	2	検証	4	分類	8	KTM Correction	16	KTM ドキュメント レビュー
1	認識													
2	検証													
4	分類													
8	KTM Correction													
16	KTM ドキュメント レビュー													
	is_attended_sess	bit	1	ISessionType.IsAttended の有人セッションの場合は 1。										

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明												
	batch_state	int	4	<p>IBatchSession.Close から生成されたバッチ ステータス。</p> <p>有効なバッチの状態値は次のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>状態</th> <th>値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備完了</td> <td>2</td> <td>次のモジュールの準備ができました。</td> </tr> <tr> <td>エラー</td> <td>32</td> <td>バッチはエラー状態です。</td> </tr> <tr> <td>削除済み</td> <td>256</td> <td>このセッションでバッチが削除されました。</td> </tr> </tbody> </table>	状態	値	説明	準備完了	2	次のモジュールの準備ができました。	エラー	32	バッチはエラー状態です。	削除済み	256	このセッションでバッチが削除されました。
状態	値	説明														
準備完了	2	次のモジュールの準備ができました。														
エラー	32	バッチはエラー状態です。														
削除済み	256	このセッションでバッチが削除されました。														
	sess_duration_sec	int	4	<p>次の範囲内のセッション期間 (秒単位):</p> <ul style="list-style-type: none"> ISession.OpenBatch および IBatchSession.Close <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> ISession.CreateBatch および IBatchSession.Close 												
	docs_created_num	int	4	<p>このセッションで作成されたドキュメントの数。</p> <p>この後の呼び出しの数:</p> <ul style="list-style-type: none"> IEdit.CopyDocument IEdit.CreateDocument IEdit.SplitDocument 												
	docs_deleted_num	int	4	<p>このセッションで削除されたドキュメントの数。</p> <p>この後の呼び出しの数:</p> <ul style="list-style-type: none"> IEdit.DeleteDocument IEdit.MergeDocument 												
	docs_compl_num	int	4	<p>このセッションで完了したドキュメントの数。</p> <p>IBatchSession.Close 呼び出しで指定された IsCompleted = true に該当するドキュメントの数。</p>												
	pages_scanned_num	int	4	<p>このセッションでスキャンされたページの数。</p> <p>IEdit.ScanPage および IEdit.CopyPage 呼び出しの数、および IEdit.CopyDocument 呼び出しで指定された NewPages の数。</p>												

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	pages_replaced_num	int	4	このセッションで置き換えられたページの数。 IEdit.ReplacePage 呼び出しの数。
	pages_deleted_num	int	4	このセッションで削除されたページの数。 IEdit.DeletePage 呼び出しの数、および IEdit.DeleteDocument 呼び出しで指定された DeletedPages の数。
	key_strok_num	int	4	このセッションで報告されたキーストロークの数。 IBatchSession.Close 呼び出しで指定された各ドキュメント内のキーストローク情報の概要を示します。 ドキュメントにフィールドレベルのキーストローク情報 (IField.KeyStrokes) が含まれている場合、ドキュメントレベルのキーストローク (IDocumentPerformance.KeyStrokes) は無視されます。 キーストロークはフィールド単位またはドキュメント単位で報告されますが、両方のレベルで報告されることはない想定されています。
	conf_classes_changed_num	int	4	このセッションで変更された、信頼できる Kofax Transformation Modules クラスの数。 IEdit.ChangeConfidentClass 呼び出しの数。
	sugg_classes_accepted_num	int	4	このセッションで受け入れられた推奨 Kofax Transformation Modules クラスの数。 IEdit.AcceptSuggestedClass 呼び出しの数。
	sugg_classes_changed_num	int	4	このセッションで変更された推奨 Kofax Transformation Modules クラスの数。 IEdit.ChangeSuggestedClass 呼び出しの数。
	corr_split_points_num	int	4	正しい分割ポイントの数。 IBatchSession.EndDocumentReview 呼び出しの ISeparation.CorrectSplits の数。
	wrong_split_points_num	int	4	誤った分割ポイントの数。 IBatchSession.EndDocumentReview 呼び出しの ISeparation.WrongSplits の数。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	missed_split_points_num	int	4	失われた分割ポイントの数。 IBatchSession.EndDocumentReview 呼び出しの ISeparation.MissingSplits の数。
	folders_split_num	int	4	使用されていません。非推奨であり、今後のリリースで削除される予定です。
	folders_merged_num	int	4	使用されていません。非推奨であり、今後のリリースで削除される予定です。
	folders_created_num	int	4	使用されていません。非推奨であり、今後のリリースで削除される予定です。
	folders_deleted_num	int	4	使用されていません。非推奨であり、今後のリリースで削除される予定です。
	docs_unclassified_num	int	4	未分類ドキュメントの数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.DocumentsUnclassified の数。
	batch_rule_failure_num	int	4	バッチ ルール エラーの数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.BatchRuleFailures の数。
	batch_rule_problem_num	int	4	バッチ ルール問題の数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.BatchRuleProblems の数。
	doc_rule_failure_num	int	4	ドキュメント ルール エラーの数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.DocumentRuleFailures の数。
	doc_rule_problem_num	int	4	ドキュメント ルール問題の数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.DocumentRuleProblems の数。
	folder_rule_failure_num	int	4	フォルダ ルール エラーの数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.FolderRuleFailures の数。
	folder_rule_problem_num	int	4	フォルダ ルール問題の数。 IBatchSession.StartDocumentReview 呼び出しの IRules.FolderRuleProblems の数。
	docs_num	int	4	IBatchSession.Close 呼び出しで指定されたドキュメントの数。
	pages_num	int	4	IBatchSession.Close 呼び出しで指定されたページの総数。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	ms_in_class_sep	int	4	このセッション中に分類または分割に費やされたミリ秒数 (IBatchSession.TimeInClassSep) Kofax Transformation Modules にのみ適用されます。
	pages_added_num	int	4	このセッションで追加されたページの数。ページに対して、スキャン、コピー、または別のバッチからの移動が実行された可能性があります。
	docs_added_num	int	4	このセッションで追加されたドキュメントの数。ドキュメントに対して、スキャン、コピー、または別のバッチからの移動が実行された可能性があります。
	ta_job_id	binary(16)	16	TotalAgility ジョブ ID。
	ta_classification_group_key	int	4	ta_classification_groups テーブルを参照します。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

doc_sess_snapshot_fact

このテーブルには、IBatchSession.Close で指定されたドキュメントごとに 1 件のレコードが保持されます。このセッション用のドキュメント単位のカウンターが含まれています。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	doc_sess_snapshot_key	bigint	8	一意のキー。
	batch_sess_snapshot_key	bigint	8	バッチセッションのスナップショット。 batch_sess_snapshot_fact に対する外部キー。
	mod_key	int	4	モジュール。 mod_dim に対する外部キー。
	station_key	int	4	ステーション。 station_dim に対する外部キー。
	user_key	int	4	ユーザー。 user_dim に対する外部キー。
	batch_key	bigint	8	バッチ情報。 batch_dim に対する外部キー。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	doc_key	bigint	8	ドキュメント情報。 doc_dim に対する外部キー。
	end_date_key	int	4	IBatchSession.Close が呼び出された日付。
	end_time_key	int	4	IBatchSession.Close が呼び出された時刻。
	dt_end_datetime	datetime	8	ドキュメント処理日時 (SQL DateTime 形式)。
	session_type	int	4	セッション タイプ。 batch_sess_snapshot_fact テーブルの session_type を参照してください。
	key_strok_num	int	4	このドキュメントについて、フィールド単位またはドキュメント単位で報告されるキーストロークの数 (両方のレベルでは報告されません)。 ドキュメントにフィールドレベルのキーストローク情報 (IField.KeyStrokes) が含まれている場合、ドキュメントレベルのキーストローク (IDocumentPerformance.KeyStrokes) は無視されます。
	ms_in_ocr	int	4	IDocumentPerformance.TimeInOcr から取得した、OCR に費やしたミリ秒数。
	ms_in_extr	int	4	IDocumentPerformance.TimeInExtraction から取得した、抽出に費やしたミリ秒数。
	ms_in_class	int	4	IDocumentPerformance.TimeInClassification から取得した、分類に費やしたミリ秒数
	doc_sess_duration_ms	int	4	IDocumentPerformance.TimeSpent から取得した、このドキュメントの処理に費やされた合計ミリ秒数。
	is_confly_classified	bit	1	分類セッションでドキュメントが高い信頼度で分類された場合は 1。IDocument.IsConfident
	class_confidence_perc	int	4	IDocument.Confidence から取得した、パーセントで表した分類の信頼度 (分類セッション内のみ)。
	page_num	int	4	IDocument.Pages リストの要素の数。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	field_num	int	4	フィールドレベルの情報を提供するモジュールにのみ適用されます。 IDocument.Fields リストの要素の数。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

累積ファクト テーブル

累積ファクト テーブルには、単一のバッチ、ドキュメント、またはフィールドに関する情報が蓄積されます。また、いくつかのモジュール セッションのカウンターが集計されます。

batch_accum_fact

このテーブルには、バッチの存続期間中に集計されたバッチレベルのカウンターが保持され、バッチの batch_session_snapshot_fact エントリが示されています。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	batch_accum_key	bigint	8	一意のキー。
	batch_key	bigint	8	バッチ情報。 batch_dim に対する外部キー。
	docs_num	int	4	最後の IBatchSession.Close 呼び出しのドキュメント数。
	pages_num	int	4	最後の IBatchSession.Close 呼び出しのページ数。
	end_to_end_sec_num	int	4	バッチ作成から最後のバッチ終了呼び出しまでの秒数。
	processing_sec_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の sess_duration_sec を集計します。
	docs_created_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	docs_deleted_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	docs_compl_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	pages_scanned_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	pages_replaced_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	pages_deleted_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	key_strok_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	conf_classes_changed_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	sugg_classes_accepted_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	sugg_classes_changed_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	corr_split_points_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	wrong_split_points_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	missed_split_points_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	folders_split_num	int	4	使用されていません。非推奨であり、今後のリリースで削除される予定です。
	folders_merged_num	int	4	使用されていません。非推奨であり、今後のリリースで削除される予定です。
	folders_created_num	int	4	使用されていません。非推奨であり、今後のリリースで削除される予定です。
	folders_deleted_num	int	4	使用されていません。非推奨であり、今後のリリースで削除される予定です。
	docs_unclassified_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	batch_rule_failure_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	batch_rule_problem_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	doc_rule_failure_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	doc_rule_problem_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	folder_rule_failure_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	folder_rule_problem_num	int	4	batch_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。

doc_accum_fact

このテーブルには、ドキュメントの存続期間中に集計されたドキュメントレベルのカウンターが保持され、ドキュメントの [doc_session_snapshot_fact](#) エントリが示されています。

アイコン	名前	データタイプ	最大長 (バイト)	説明
	doc_accum_key	bigint	8	一意のキー。
	batch_key	bigint	8	バッチ情報。 batch_dim に対する外部キー。
	doc_key	bigint	8	ドキュメント情報。 doc_dim に対する外部キー。
	ms_in_ocr	int	4	doc_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	ms_in_extr	int	4	doc_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	ms_in_class	int	4	doc_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	key_strok_num	int	4	doc_sess_snapshot_fact の情報を集計します。
	page_num	int	4	最後の doc_sess_snapshot_fact レコードの page_num 。
	field_num	int	4	最後の doc_sess_snapshot_fact レコードの field_num 。
	is_confly_classified	bit	1	doc_sess_snapshot_fact の最後の分類セッションのレコード。
	class_confidence_per c	int	4	doc_sess_snapshot_fact の最後の分類セッションのレコード。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。

field_accum_fact

このテーブルには、ドキュメント内の単一インデックス フィールドに関する要約情報が保持されます。ドキュメント ID、フィールド名、行番号の組み合わせが一意のキーになります。再分類のため、または

テーブル フィールドから行が削除されたためにドキュメントのフィールドが失われた場合、このテーブルのレコードは削除されます。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	field_accum_key	bigint	8	一意のキー。
	batch_key	bigint	8	バッチ情報。 batch_dim に対する外部キー。
	doc_key	bigint	8	ドキュメント情報。 doc_dim に対する外部キー。
	field_key	int	4	フィールド名。 field_dim に対する外部キー。
	field_column_key	bigint	8	テーブル フィールドの field_column_dim に対する外部 キー。 テーブル以外のフィールドの場合は -1。
	group_value_key	int	4	グループの値。 group_value_dim に対する外部キー。
	dt_last_recog	datetime	8	最後の認識セッションの時間。
	dt_last_valid	datetime	8	最後の検証セッションの時間。
	dt_last_correc	datetime	8	最後の修正セッションの時間。
	dt_last_review	datetime	8	最後のドキュメント レビュー セッション の時間。
	dt_last_class	datetime	8	最後の分類セッションの時間。
	dt_last_sess	datetime	8	最後の IBatchSession.Close の時間 と、このフィールドに関する情報。
	field_tbl_index	int	4	IField.RowId のテーブルのインデック ス (これがテーブル フィールドの場合)。
	field_recog_status_key	int	4	フィールド認識ステータス。 このフィールドは 5 に初期化され ています。検証セッションでは、 この値は、IField.IsValid と IField.IsChanged に従って設定され ます。 <ul style="list-style-type: none"> IField.IsValid が True の場合、 フィールドは有効です。 IField.IsChanged が False の場 合、フィールドは適切です。 field_recog_status_dim に対する外 部キー。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	key_strok_num	int	4	このフィールドに対する合計キーストローク数。 このフィールドの IField.KeyStrokes の合計。
	field_value	nvarchar(1024)	2048	現在のフィールド値。 このフィールドの最後の IField.Value。
	original_value	nvarchar(1024)	2048	自動的に認識されるフィールド値。 最後の認識セッションの IField.Value。
	field_confidence_perc	int	4	フィールド認識の信頼度。 最後の認識セッションの IField.Confidence。
	chars_recognized_num	int	4	自動的に認識された文字の数。 original_value の長さ。
	chars_validated_num	int	4	検証セッション後の文字数。 最後の検証セッションの IField.Value の長さ。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。
	is_sys_extracted	bit	1	IField.IsSystemExtracted の値。 ドキュメントがシステムによって分類された場合は 1。
	extr_batch_sess_key	int	4	最後の抽出バッチ セッション キー、またはフィールドがシステムによって変更されたセッション。 batch_sess_snapshot_fact に対する外部キー。 ドキュメント分割時に継承され、フィールドがコピーされました。
	extr_manual_sessions_key	int	4	フィールドが手動で変更された最後のバッチ セッション キー。 batch_sess_snapshot_fact に対する外部キー。 ドキュメント分割時に継承され、フィールドがコピーされました。

その他のファクト テーブル

batch_field_fact

このテーブルにはバッチ フィールド情報が含まれていて、IBatchSession.Close の時点で更新されま
す。バッチ、バッチ フィールド名、バッチ フィールド値の組み合わせごとに 1 件のレコードが保持され
ます。

Kofax TotalAgility では使用されません。これは非推奨であり、今後のリリースで削除される予定です。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	batch_field_key	bigint	8	一意のキー。
	batch_key	bigint	8	バッチ情報。 batch_dim に対する外部キー。
	field_key	int	4	バッチ フィールドの名前。 field_dim に対する外部キー。
	field_value	nvarchar(1024)	2048	IBatchField.Value のバッチ フィールド 値。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した 最後のセッションを指します。

field_changes_fact

このテーブルには、フィールドで手動で行われたすべての変更が含まれています。このテーブルに入力さ
れるのは、バッチ セッション完了イベントに関するこの情報がモジュールによって提供される場合のみ
です。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	object_audit_key	bigint	8	手動フィールド変更イベントを表す [obj ect_audit_fact] テーブル エントリに対する キー。 (このキーの [object_action_key] 値は 600 01 です)。
	doc_sess_snapshot_key	bigint	8	ドキュメントセッションのキー。 IEdit 呼び出し内の IDocument.Id パラメー タおよび SessionId パラメータから計算さ れます。
	field_new_value	nvarchar(1024)	2048	変更によって割り当てられた、フィールド の新しい値の文字列表現。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	field_old_value	nvarchar(1024)	2048	変更によって新規に割り当てられる前の、フィールドの古い値に対する文字列表現。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した最後のセッションを指します。
	field_change_key	bigint	8	一意のキー。
	field_key	bigint	8	フィールドを参照する [field_dim] エントリのキー。
	field_column_key	bigint	8	テーブル フィールド内の列を表す [field_column_dim] エントリのキー。
	field_tbl_index	int	4	テーブル フィールドの行数。

object_audit_fact

このテーブルには、API によって内部的に作成されたバッチ レベルのアクション (バッチ作成、バッチ削除、バッチ エクスポート、バッチ オープン、バッチ 終了) や IEdit インターフェイスの明示的な呼び出しなどのバッチ編集情報が含まれています。

監査された個々のイベントごとに、1 件のレコードがあります。既存のレコードは更新されません。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	object_audit_key	bigint	8	一意の内部キー。
	batch_key	bigint	8	バッチ情報。 batch_dim に対する外部キー。 バッチが含まれていない場合は -1 になることがあります。
	doc_key	bigint	8	ドキュメント情報。 doc_dim に対する外部キー。 ドキュメントが含まれていない場合は -1 になることがあります。
	page_key	bigint	8	ページ情報。 page_dim に対する外部キー。 ページが含まれていない場合は -1 になることがあります。
	date_key	int	4	イベントの日付。 date_dim に対する外部キー。
	time_key	int	4	イベントの時刻。 time_dim に対する外部キー。
	dt_action_time	datetime	8	イベントの日時 (SQL DateTime 形式)。

アイコン	名前	データ タイプ	最大長 (バイト)	説明
	user_key	int	4	イベントを開始したユーザー。 user_dim に対する外部キー。
	mod_key	int	4	イベントを生成したモジュール。 mod_dim に対する外部キー。
	station_key	int	4	イベントが発生したステーション。 station_dim に対する外部キー。
	machine_key	int	4	イベントを報告したマシン。 machine_dim に対する外部キー。
	object_action_key	int	4	アクション タイプ。 object_action_dim に対する外部キー。
	reject_note_key	int	4	リジェクト ノート (リジェクト アクション がない場合は -1) reject_note_dim に対する外部キー。
	export_mod_key	int	4	エクスポート コネクタ (または -1)。 mod_dim に対する外部キー。
	is_interactive	bit	1	IEdit.IsInteractive のインタラク ティブ アクションの場合は 1。
	sequence_num	int	4	セッション内のアクションの連番。
	comments	nvarchar(255)	510	イベント コメント。 分割イベントの場合、分割ページの範囲が 含まれています。
	etl_job_key	int	4	内部で使用されます。エントリを変更した 最後のセッションを指します。
	event_data_key	uniqueidentifier	16	追加のイベント データ。 event_data_dim に対する外部キー。